

来春開業予定

「新宿公共バスターミナル」 開業に向けて意見交換会おこなう！



12月14日、JRバス関東本部はJR総連、東労組本部、全自交労連、東京知連、たしろかおる参議院議員とともに、2016年春新宿駅南口エリアに開業予定の「新宿公共バスターミナル」について意見交換を行いました。

この間、申3号「新宿公共バスターミナル及び新宿営業支店の将来展望に関する解明要求」団体交渉において議論を重ねているものの、出向する組合員の労働条件や乗り入れに伴うダイヤ・構内の安全対策等について、刻々と開業が迫るなか一切不透明な状況が続いています。意見交換では、「新宿駅周辺に点在する19のバス発着場を一つに集約し、1日1600便の高速バスが発着する日本一の玄関口となる」大きな施策に加え、「新ターミナル内の各階にバス・タクシーの乗降場が設けられる」ことについて、実際に新宿駅に乗り入れるバス・タクシーで働いている側の視点から想定される問題点や開業に向けての意見などが活発に出されました。解決しなければならない課題は山積しています。今後も「たしろかおる」参議院議員と連帯する仲間とともに、利用者の安全確保とバス・タクシーの労働者が働きがいを持てる業界の確立に向けて、議論を継続していきます。

